

2023年9月11日  
営業技術部 浜田

## 福山夏まつり「あしだ川花火大会」について

福山夏祭りは、福山の夏の一大イベントとして長く親しまれています。

福山夏まつりを華麗にフィナーレを飾るのが

「あしだ川花火大会」です。

4年前は台風の影響で中止となり、

2020年から3年間は新型コロナの影響で

開催がなくなっていました。



今年は、5年ぶりの通常開催となり

『福山夏まつり2023「あしだ川花火大会」～福山まちじゅう花火～』と題し

完全復活の形で15日夜に予定されていた「あしだ川花火大会」ですが、

台風7号接近のため残念ながら中止になってしまいました。

芦田川の両岸を観覧席に広い水面と山並みに映る花火が壮観で

花火と音楽が連動し全身でその迫力を体感することができます。

1.4kmの西日本一の長さを誇る水上スターマインやパステルカラーの花火は

福山ならではの美しさで1万6000発が福山の夜空を彩る予定でしたが

中止となり多くの皆様が残念に思われた事でしょう。



そこで福山の花火の歴史について少し調べてみました。

と言っても詳しいことが分かりませんでしたのである資料より抜粋させて頂きました。

福山の花火は今でこそ芦田川河口近くの芦田川大橋付近で開催されていますが、

これは、ほんの10年近く前（？）からで、それまでは現在の会場より

上流の法音寺橋付近（草戸稻荷神社前）で、ずっと開催されていました。

ですから福山の花火と言ったら、この「草戸の花火」をイメージされる方も多いと思います。

そして、ならば福山の花火は、この「草戸の花火」が起源かというと、そうではないのです。

「草戸の花火」が開催されるようになったのは昭和30年代からだと言います。

では「草戸の花火」以前はどうだったのでしょうか

福山では 花火はやっていなかったのでしょうか

話は少しそれますが、福山のお隣の尾道の花火をご存知でしょうか？

そう、「住吉さん」のことです。住吉神社の夏祭りです。

福山にも住吉神社（国道2号線近く ※鞆の住吉神社ではありません）があるんです。

それなのに尾道の住吉神社に比べると花火もやってなくて、

なぜだか影が薄い。

しかし、そんなことないのです。

この福山の住吉神社は今でこそ当時を想像できませんが、

かつて福山城と海をつなぐ入川に面していました。

江戸時代からかどうかは不明ですが、

夏祭りが盛大に開催され、花火を打ち上げていたそうで、

この住吉神社の花火こそ、実は福山の花火の起源だったのです。

しかし戦後の入川の埋め立てで、打上花火が出来なくなってしまったのでしょうか、

福山の花火は「住吉の花火」から「草戸の花火」へと

引き継がれて行ったのでした。



今は技術が進歩し、打ち上げをコンピューターで制御していますので、

複雑な打ち上がり方を可能とし音楽と融合させたり

上空で1つの絵になるという事が可能となりました。

今年は本当に残念でしたが来年に期待しましょう。

それでは